

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 2 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-1	美濃手すき和紙支援事業	担当課	美濃和紙の里会館
			作成者	須田 亜紀
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	3伝統産業
	総合計画上の施策名	114 美濃手すき和紙後継者の育成・支援(113 和紙産業の振興と新商品の開発支援)		
	施策名(評価単位)	(25) 和紙産業の振興とPR(旧:和紙産業の振興)		

2. 事務事業の目的	美濃手すき和紙産業振興及び伝承するために美濃手すき和紙製造技術等の保存及び後継者の育成を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成2年度)	美濃手すき和紙製造技術等の習得に意欲を有する者、習得後和紙製造業に従事する者、美濃手すき和紙協同組合が推薦するものに月額5万円の奨励金制度がありますが令和2年度の対象者は1名。手すき和紙後継者育成は美濃手すき和紙協同組合が後継者の販路拡大を目的に行う東京での展示会は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止されました。また平成29年度より美濃手すき和紙協同組合に対し、原料購入資金の貸付事業を開始しました。その他、美濃手すき和紙協同組合の活動に357,000円の補助金を交付しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	1,766,203	2,857,000	1,052,000	2,857,000	
② 人件費	3,375,000	3,375,000	3,375,000	3,375,000	
③ 合計コスト ①+②	5,141,203	6,232,000	4,427,000	6,232,000	
前年度比 (%)		121.2%	71.0%	140.8%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	1,355,203	2,500,000	0	2,500,000
	一般財源	3,786,000	3,732,000	4,427,000	3,732,000
④ 活動一単位当たりコスト	#DIV/0!	#DIV/0!	4,427,000.0	6,232,000.0	
前年度比 (%)		#DIV/0!	#DIV/0!	140.8%	
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和2年度は美濃手すき和紙原料購入資金貸付事業2,500千円は不執行のため減になります。				

(3) 活動指標	指標名	奨励金支給対象者数				単位:	人
	指標説明	美濃手すき和紙後継者を育成することにより和紙産業振興を図ります。					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	実績値	0	0	1	1		

(4) 成果指標	指標名					単位:		評価:	
	指標説明	和紙スクール5日間コースと1か月コースの参加者数							
	目標値の設定方針	実績の105%							
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込				
	目標値	6	6	6	4				
	実績値	5	8	7					
達成度 (%)	83.3%	133.3%	116.7%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
新型コロナウイルス感染症の影響で、手すき和紙をPRする予定であった様々な活動が中止や規模縮小になり、十分な成果を得ることはできませんでした。新型コロナ終息後にイベント等積極的に実施できるよう計画立案等の支援をする必要があります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
美濃和紙の里会館の売店商品を充実させ、会館のホームページやfacebook等のSNSを利用し、広く売店と製品のPRをWeb上で行うことで需要を拡大させ、職人らの販路拡大につなげます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名
和紙職人志望者の技術の伝承と、経営の安定の両立は難しいが、後継者育成と販路拡大・新製品開発を積極的に行い、発信力を強化することで需要を喚起し、両立を図ります。また職人志望者を受け入れる体制の整備が急務である。	
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 2 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-2	美濃和紙の里会館運営事業	担当課	美濃和紙の里会館
			作成者	黒田 直快
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	3伝統産業
	総合計画上の施策名	116 和紙の里の整備		
	施策名（評価単位）	(25) 和紙産業の振興とPR		

2. 事務事業の目的	美濃和紙文化の発展に貢献するため、美濃和紙の里会館の適正な管理運営を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	予算科目中、和紙の里会館業務委託（受付・売店・体験等）、体験関係経費、和紙スクール経費、売店関係経費、和紙の里会館施設管理経費を合わせて、美濃和紙の里会館運営業務とし、会館の適正運営を図りました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	47,539,070	46,496,633	48,067,659	65,071,000
② 人件費	4,875,000	4,875,000	4,875,000	4,875,000
③ 合計コスト ①+②	52,414,070	51,371,633	52,942,659	69,946,000
前年度比（%）		98.0%	103.1%	132.1%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	52,414,070	51,371,633	52,942,659
④ 活動一単位当たりコスト	169,077.6	166,251.2	195,360.4	241,193.1
前年度比（%）		98.3%	117.5%	123.5%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和3年度に瓦屋根改修工事のため、コストが増加しています。			

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位：	日
	指標説明	美濃和紙の里会館の年間開館日数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	310	309	271	290	

(4) 成果指標	指標名	入館者数			単位：	日	評価：	+
	指標説明	美濃和紙の里会館の年間入館者数						
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	41,266	38,271	39,364	18,074			
	実績値	36,448	37,489	17,213				
達成度（%）	88.3%	98.0%	43.7%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
本美濃紙のユネスコ無形文化遺産登録を契機に入館者が増加しましたが、平成27年度をピークに平成28年度からは減少に転じました。ユネスコ無形文化遺産登録の好影響は徐々に薄れる中、商談会など積極的なPRで入館者数を増加させてきました。しかし、感染症の影響を受け、約1か月以上休館していました。紙すき体験者数も順調に伸び続けていましたが、令和2年度に引き続き人数制限を解除できない状況にあります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
団体予約では小学校の社会見学での利用が多いことから、安心・安全に対応できるよう、旅行社や担任の先生と綿密に打ち合わせ、スケジュールを調整し提案しています。受け入れ可能なコースをマニュアル化して学校に配布するなど、スムーズに受け入れできるよう工夫しています。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	柴田 勝己
和紙の産地である美濃市の中核施設として当館は内外に象徴的な施設であり、適切な運営は欠かせません。令和2年度は、老朽化した各施設を16件改修し入館者が快適に過ごせる環境整備を行いました。今後も施設の適切な維持管理を積極的に行い、館内環境を整えます。全体的に老朽化しており、今後も、施設管理等にコストがかかります。支出と収入のバランスを考えながら、運営していく必要があります。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 2 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-18	美濃手すき和紙の家施設管理事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	太田 翔斗
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	3伝統産業
	総合計画上の施策名	116 和紙の里の整備		
	施策名（評価単位）	(25) 和紙産業の振興とPR		

2. 事務事業の目的	伝統的な紙屋の保存・公開と、本美濃紙の技術を魅せる施設の整備
------------	--------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 美濃手すき和紙の家旧古田行三郎の一般公開の実施 地元の紙すき経験の有る人たちを中心として組織された団体「漉き娘の会」の会員により、施設を訪れた観光客等に対し、美濃和紙文化や手すき和紙の道具の説明等案内を実施しました。 紙すき工房の貸出しの実施 手すき和紙職人に工房を貸出し、来場者に紙すき作業の様子を見学していただくことができました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	640,738	545,899	323,105	437,000
② 人件費	2,850,000	2,850,000	3,000,000	2,325,000
③ 合計コスト ①+②	3,490,738	3,395,899	3,323,105	2,762,000
前年度比（％）		97.3%	97.9%	83.1%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	3,490,738	3,395,899	3,323,105
④ 活動一単位当たりコスト	37,534.8	33,622.8	46,804.3	30,688.9
前年度比（％）		89.6%	139.2%	65.6%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和3年度は、美濃和紙推進課の職員が1名減ったため、人件費が減少しており、活動一単位当たりのコストも減少しています。			

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位：	日
	指標説明	美濃手すき和紙の家 旧古田行三郎の年間開館日数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	93	101	71	90	

(4) 成果指標	指標名	入館者数			単位：	人	評価：	+
	指標説明	美濃手すき和紙の家 旧古田行三郎の年間入館者数						
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	631	646	486	116			
	実績値	616	463	111				
達成度（％）	97.6%	71.7%	22.8%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、工房の貸出期間が3ヶ月あり、観光客が紙すき作業等を見学する機会が増え、美濃和紙のPRにつながりました。 新型コロナウイルス感染症の影響により、入館者数が減少し、臨時休業を行ったため、開館日数も減りました。 「漉き娘の会」の会員が高齢化しており、会の維持が求められています。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	R3年4月
<ul style="list-style-type: none"> 入館者数を増やすために、手すき和紙職人や周辺的美濃和紙関連施設と連携を図るとともに、ホームページなどのWEB媒体を活用し、広く周知します。 「漉き娘の会」に関しては、広く会員を募り、会の維持に努めます。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	柴田 勝己
<p>旧古田行三郎は、住居に紙屋を備えた伝統的な建物であり、美濃和紙をPRする上で重要な施設となっています。周辺には、美濃和紙に関連する施設等が点在し相乗効果が期待できます。今後はそれらと相互連携を図りながら事業を推進していきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 2 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-8	美濃和紙あかりアート館施設管理事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	村瀬 菜摘
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	3伝統産業
	総合計画上の施策名	122 美濃和紙のPRの推進		
	施策名（評価単位）	25 和紙産業の振興のPR		

2. 事務事業の目的	観光客誘致及び観光施設充実を目指して、施設を歴史的風致を維持した運営・管理を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1階：ショップ 美濃市内の業者が創作した美濃和紙のあかり作品等を展示・販売。商品の売上管理。（令和2年度総売上 350,400円） ・ 2階：美濃和紙あかりアートミュージアム 毎年10月に美濃市で行われる美濃和紙あかりアート展の入賞作品を展示。入館者の管理。（令和2年度入館者合計 9,699人） ・ 建物管理 入館・販売・清掃等の管理を会計年度任用職員3名（1年契約）で対応

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	3,482,629	3,771,120	3,555,439	4,272,000
② 人件費	1,350,000	1,350,000	1,350,000	1,275,000
③ 合計コスト ①+②	4,832,629	5,121,120	4,905,439	5,547,000
前年度比（％）		106.0%	95.8%	113.1%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	4,832,629	5,121,120	4,905,439
④ 活動一単位当たりコスト	15,639.6	16,519.7	18,034.7	18,246.7
前年度比（％）		105.6%	109.2%	101.2%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位：	日
	指標説明	美濃和紙あかりアート館の年間開館日数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	309	310	272	304	

(4) 成果指標	指標名	入館者数		単位：	人	評価：	+
	指標説明	美濃和紙あかりアート館2階ミュージアムへ入館した観光客数					
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	目標値	21,055	20,751	22,068	10,184		
	実績値	19,763	21,017	9,699			
達成度（％）	93.9%	101.3%	44.0%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価		A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No				
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No				
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No				
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No				

5. 評価・課題
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、入館者数は前年度から大きく減少し、その中でも、外国人観光客数は、ほぼ0人となりました。また、緊急事態宣言の発令によりGW等例年であれば来館者数の多かった時期に臨時休館を実施したことも入館者数の減少の一因であると考えられます。来館者名簿を来館者に記載してもらい、消毒もこまめに実施する等新型コロナウイルス感染症対策に努めました。</p>

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
<p>afterコロナ、withコロナを見据え、SNS等での観光PR、オンライン商談会を行い、入館者数、売店の販売数、売上高の増加につなげます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	柴田 勝己
<p>うだつの上がる町並みの中にあり、観光案内拠点としてなくてはならない施設であるため、定期的な点検等を行い現状維持に努めます。</p>		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 2 年度）

1. 事務事業の概要					
事務事業名	32-12	美濃和紙の里会館企画展事業		担当課	美濃和紙の里会館
				作成者	須田 亜紀
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	3伝統産業	
	総合計画上の施策名	122 美濃和紙のPRの推進			
	施策名（評価単位）	### 和紙産業の振興とPR			

2. 事務事業の目的	様々な企画展を開催し、美濃和紙の里から和紙文化の情報発信、紙業の発展に貢献します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	年間7回の企画展を開催しました。 ①2020全国和紙画家選抜展 4月1日～6月29日、②ダンボールアイランド 7月2日～8月31日、 ③山岡草の和紙人形展 9月3日～10月19日、④2020公募第33回全国和紙画展 10月22日～12月14日、 ⑤伊勢型紙 極細の世界 12月17日～1月25日、⑥大判カメラと手漉き和紙との出会い 1月28日～3月15日、 ⑦2021全国和紙画家選抜展 3月18日～3月31日

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	14,978,228	13,886,012	10,865,695	12,857,000	
② 人件費	7,875,000	7,875,000	7,875,000	7,875,000	
③ 合計コスト ①+②	22,853,228	21,761,012	18,740,695	20,732,000	
前年度比 (%)		95.2%	86.1%	110.6%	
財源内訳	国・県支出金	480,000	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	22,373,228	21,761,012	18,740,695	20,732,000
④ 活動一単位当たりコスト	2,539,247.6	2,417,890.2	2,677,242.1	3,455,333.3	
前年度比 (%)		95.2%	110.7%	129.1%	
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、美濃和紙の里会館を休館した時期があるため、1企画展が中止となり直接事業費が減りましたが、令和3年度は企画展を予定通り行うため、直接事業費が増えています。				

(3) 活動指標	指標名	企画展開催回数				単位:	日
	指標説明	美濃和紙の里会館の企画展の回数					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	実績値	9	9	7	6		

(4) 成果指標	指標名	入館者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	美濃和紙の里会館の入館者数							
	目標値の設定方針	前年度比105%							
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込				
	目標値	41,266	38,271	39,364	18,074				
	実績値	36,448	37,489	17,213					
達成度 (%)	88.3%	98.0%	43.7%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための緊急事態宣言の発令により臨時休館（4/11～5/22）となり、また外出自粛が求められたこともあり、入館者数は激減しました。企画展の内容としては夏休みのダンボールや原料産地である大子町関連の人形展、重要無形文化財の伊勢型紙展など和紙関連など話題になるものを開催しました。全国和紙画展はコロナ禍でもあったため応募点数の減少がみられるので、美術系大学等へのPRが必要です。新型コロナの収束後、観光先として来館してもらえるよう魅力ある展示と集客を見込める内容の企画展の開催、新しい紙すき体験メニューの充実を図ります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
公募全国和紙画展は前回から作品募集のポスター等印刷物を大賞作品を掲載し、見て分かりやすいデザインに変えるなど作家の創作意欲を高めやすくし、またホームページやFacebookなどWebを活用して新たな応募者の増加につなげます。また、伝統工芸など和紙の可能性について多くの人へ発信し、和紙への関心を高め、新しい用途につながるような企画展を実施します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	柴田 勝己
展示内容はニーズをよく読みとって考えなければなりません。企画展は魅力のあるものですが、発信力の強化が必要です。旅行社等と積極的な情報交換を推進していきます。今後は、after コロナ、with コロナに向け、国内はもとより、また外国人観光客の誘致にも力を入れていきます。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 2 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-19	本美濃紙継承事業	担当課	美濃和紙の里会館
			作成者	清山 健
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	61 本美濃紙の伝承		
	施策名（評価単位）	(25) 和紙産業の振興とPR		

2. 事務事業の目的	国指定重要無形文化財「本美濃紙」を次世代へ継承するため、製作技術の保存及び伝承者の養成を支援します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	「本美濃紙」の保持団体である「本美濃紙保存会」が行う技術保存、伝承者養成事業への補助。保存会の事業総額5,280,000円のうち、国庫補助額5,000,000円への追加的補助220,000円。美濃市補助金等交付規則第4条。27年度から導入された文化遺産伝承補助金6,000,000円は岐阜県文化財保護費補助金の助成を受けた補助制度です。これにより啓発事業、研修事業が拡充しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	7,420,000	7,420,000	6,220,000	6,220,000
② 人件費	3,150,000	3,150,000	3,150,000	1,500,000
③ 合計コスト ①+②	10,570,000	10,570,000	9,370,000	7,720,000
前年度比（％）		100.0%	88.6%	82.4%
財源内訳	国・県支出金	3,000,000	3,000,000	3,000,000
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	7,570,000	7,570,000	6,370,000
④ 活動一単位当たりコスト	813,076.9	880,833.3	720,769.2	593,846.2
前年度比（％）		108.3%	81.8%	82.4%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	美濃和紙推進課の職員が1名減のため、人件費が減りました。			

(3) 活動指標	指標名	研修生				単位：	日
	指標説明	育成する技術伝承者の数（23年度から関連技術伝承者を含む）					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	実績値	13	12	13	13		

(4) 成果指標	指標名	新規会員数				単位：	人	評価：	+
	指標説明	研修生から新規に正規会員に加入した人数（23年度から関連技術伝承者を含む）							
	目標値の設定方針	1名以上							
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込				
	目標値	1	1	1	0				
	実績値	0	1	1					
達成度（％）	0.0%	100.0%	100.0%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>研修事業は堅調に進められており、研修生の中から新規会員を1名選任できました。また、令和2年度から新規研修生を2名認定しました。今後も人材の育成には中長期的な展望が必要です。10年目を迎える研修生には次のステップが必要です。事業の内容は全工程に及ぶ研修会の開催など、研修生に有益であるよう心がけました。研修内容は習熟度に合わせて行っています。課題であった原料の枯不足については産地との情報交換を行い、少しずつ好転していますが予断を許さない状況にあります。関連技術の伝承には具体的な計画を策定することが必要です。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	R3
<p>若手職人の独立のため、新規工房への用具の貸し出し等で支援を行いました。研修事業は毎年内容を高度化して技術向上を図っています。次世代への継承事業を進めていくうえで、10年を経過した研修生は自己研鑽を主として会員昇格を目指していただき、新規研修者の育成を主に取り組みます。枯不足については産地と連携し、枯加工職人の育成を充実させます。関連技術の製作場所の確保に積極的に支援を行います。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	柴田 勝己
<p>23年度加入の研修生は10年目となり、正規会員を1名を輩出しました。また、新たな研修生を2名迎え、次世代への継承を進めていく動きが進められています。また、本美濃紙保存会では関連技術の伝承に取り組んで成果を出し、原料問題についても茨城県大子町と協力して枯加工職人の確保に尽力し、全国有数の和紙産地としての存在感は年々増えています。今後も保存会の活動の支援を行います。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 2 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-3	美濃市仁輪加連盟補助事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	太田 翔斗
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	117 文化・芸能・芸術を活かした観光事業の展開と後継者の育成		
	施策名（評価単位）	26 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	国選択無形民俗文化財である美濃流し仁輪加の保存・継承を促進するとともに、観光PRと観光客誘致のために市仁輪加連盟を支援します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	美濃市の伝統芸能である美濃流し仁輪加の保存・継承を行っている美濃市仁輪加連盟に対する補助。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のためイベントが中止。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	46,000	46,000	0	46,000
② 人件費	1,275,000	1,275,000	1,050,000	1,050,000
③ 合計コスト ①+②	1,321,000	1,321,000	1,050,000	1,096,000
前年度比（％）		100.0%	79.5%	104.4%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,321,000	1,321,000	1,050,000
④ 活動一単位当たりコスト	264,200.0	264,200.0	#DIV/0!	1,096,000.0
前年度比（％）		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが中止となったため、合計コストが減っています。			

(3) 活動指標	指標名	イベント等出演数			単位：	回
	指標説明	美濃市仁輪加連盟に依頼のあったイベント等への出演数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	5	5	0	1	

(4) 成果指標	指標名	来場者数			単位：	人	評価：	+
	指標説明	美濃まつりに行われる仁輪加コンクール会場への来場者数						
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	1,500	1,500	0	0			
	実績値	1,000	1,000	0				
達成度（％）	66.7%	66.7%	#DIV/0!					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
美濃市仁輪加連盟による美濃流し仁輪加の保存・継承が行われており、若者の参加が盛んになる町内が多くなっています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等が中止となったため活動がありませんでした。コロナ禍やアフターコロナの状況での活動が課題です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
仁輪加の認知度向上のため、可能な限り出演依頼には応えていきます。仁輪加継承のため、これまでのやり方にこだわらず、守るべきものは守り、新しい仁輪加の演じ方を模索します。令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により美濃まつりが中止となったため、仁輪加コンクールも中止となりました。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	柴田 勝己
仁輪加は、美濃市の伝統芸能として欠くことのできないものであり、観光資源及び伝統継承の観点からも連盟の存続は必要です。今後は多くの人により仁輪加のことを周知するためにも、可能な限り出演していくようにします。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 2 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-4	小倉公園等維持管理事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	村瀬 菜摘
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118 観光拠点の整備と充実		
	施策名（評価単位）	26 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	安全で快適に利用してもらえるよう維持・管理します。
------------	---------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計年度任用職員2名による維持、管理 ・ トイレ管理、清掃 ・ 危険木等伐採、剪定、草刈 ・ 小動物の管理、飼育 ・ 遊具管理 ・ 岩の撤去

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	8,097,099	8,351,653	10,562,660	10,300,000
② 人件費	1,050,000	1,050,000	825,000	975,000
③ 合計コスト ①+②	9,147,099	9,401,653	11,387,660	11,275,000
前年度比 (%)		102.8%	121.1%	99.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	9,147,099	9,401,653	11,387,660
④ 活動一単位当たりコスト	21,124.9	21,763.1	27,049.1	26,220.9
前年度比 (%)		103.0%	124.3%	96.9%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和2年度は、小倉公園内の松枯れ伐採等を行ったため、直接事業費が増えています。			

(3) 活動指標	指標名	会計年度任用職員業務実施日数			単位:	日
	指標説明	会計年度任用職員2人の1年間の勤務日数(年間215日勤務×2人)				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	433	432	421	430	

(4) 成果指標	指標名	入園者数		単位:	人	評価:	+
	指標説明	小倉公園を訪れた地域住民・観光客等の利用日数					
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	目標値	20,831	20,172	19,674	13,875		
	実績値	19,211	18,738	13,215			
達成度 (%)	92.2%	92.9%	67.2%				

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
危険木の伐採や岩の撤去、松の剪定を行い、利用者の安全に配慮しました。景観重要樹木の保育・管理及び保全に努める必要があります。遊具が老朽化しており、壊れて危険な遊具を撤去しました。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
利用者の安全配慮のため、新たに会計年度任用職員1人を雇い、危険木・枯渇木の伐採等を実施します。他の都市公園の整備にあわせ、計画的に遊具の更新を実施します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	柴田 勝己
小倉公園は市民の憩いの場、交流の場として広く利用されています。公園の他にも近隣にはない小動物園が併設されており、地元の人々のみならず観光客も多く訪れています。老木が多いため、危険木や枯渇木の伐採を行い、景観重要樹木を保全し、また、老朽化した遊具を更新するなど、市民や観光客の憩いの場として安全・快適に利用できるように維持・管理をしていきます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 2 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-5	町並みギャラリー維持管理事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	村瀬 菜摘
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118 観光拠点の整備と充実		
	施策名（評価単位）	26 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	観光客誘致及び観光施設の充実を目指し、施設の歴史的風致を維持した運営・管理を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・美濃和紙ちぎり絵同好会に作品展示と施設清掃を委託しました。（偶数月）（令和2年度委託料 156千円/年） ・施設の維持・管理を行いました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	1,117,524	738,207	553,979	1,100,000
② 人件費	300,000	300,000	300,000	450,000
③ 合計コスト ①+②	1,417,524	1,038,207	853,979	1,550,000
前年度比（％）		73.2%	82.3%	181.5%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,417,524	1,038,207	853,979
④ 活動一単位当たりコスト	4,632.4	6,741.6	6,279.3	10,264.9
前年度比（％）		145.5%	93.1%	163.5%
⑤ コストに関する増減理由 （R2年度実績、R3年度見込）	令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休館のため、開館日数が減少したことにより、活動一単位当たりコストが減少しました。令和3年度は、昨年実施しなかった展示装飾を実施するため、事業費が増加しています。			

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位：	日
	指標説明	町並みギャラリー山田家住宅の年間開館日数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	306	154	136	151	

(4) 成果指標	指標名	入館者数		単位：	人	評価：	+
	指標説明	町並みギャラリー山田家住宅を訪れた観光客数					
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	目標値	9,660	8,764	3,834	1,586		
	実績値	8,347	3,652	1,510			
達成度（％）	86.4%	41.7%	39.4%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
和紙を使った作品展示の施設として、観光客に積極的に観光PRを実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、体験コーナーは中断しています。当館は他の観光施設のような知名度が無く、集客力が弱い。運営も高齢の団体に委託しており、新たな展示内容を企画することが難しくなっています。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
旧今井家住宅・美濃史料館や美濃和紙あかりアート館、観光案内所が付近にあるため、他施設から山田家住宅への誘導を図ります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	柴田 勝己
町並みにある古い建物として、維持していく必要があります。ギャラリーとして観光客のニーズにあった展示ができる仕組みを検討する必要があり、また、運営方法について指定管理者制度も視野に入れた新たな方法を検討し、さらに、ギャラリーとしてではなく、住民が自由に利用できる文化施設など活用方法を検討します。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 2 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-6	旧名鉄美濃駅施設管理事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	村瀬 菜摘
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118 観光拠点の整備と充実		
	施策名（評価単位）	26 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	観光客誘致及び観光施設充実を目指して、施設を歴史的風致を維持した運営・管理を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和2年度）	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営に関する業務を美濃市観光協会に委託 令和2年度の年間施設利用者数は、2,533人（令和元年度：7,450人） 令和2年度の年間施設開放日数は、282日

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	1,598,600	1,579,340	773,000	715,000
② 人件費	750,000	750,000	675,000	675,000
③ 合計コスト ①+②	2,348,600	2,329,340	1,448,000	1,390,000
前年度比（％）		99.2%	62.2%	96.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,348,600	2,329,340	1,448,000
④ 活動一単位当たりコスト	7,675.2	7,514.0	5,423.2	4,513.0
前年度比（％）		97.9%	72.2%	83.2%
⑤ コストに関する増減理由 （R2年度実績、R3年度見込）	令和元年度に行った展示車両の修繕を令和2年度は行わなかったため、直接事業費が減っています。			

(3) 活動指標	指標名	施設開放日数			単位：	日
	指標説明	旧名鉄美濃駅の年間施設開放日数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	306	310	267	308	

(4) 成果指標	指標名	入館者数		単位：	人	評価：	+
	指標説明	旧名鉄美濃駅に入館した観光客数					
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	目標値	7,350	7,350	7,822	2,660		
	実績値	7,000	7,450	2,533			
達成度（％）	95.2%	101.4%	32.4%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>藤棚の剪定や、看板の修繕を行い景観維持に努めました。 駅のホームのひび割れ等駅舎の老朽化が進んでおり、将来改修を行うに当たって旧名鉄美濃駅保存会の意見を徹しました。 美濃市の主要観光地であるうだつの上がる町並みより少し離れているため、入館者数の増加に向け旧名鉄美濃駅の知名度を向上させる必要があります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
<p>藤棚の剪定や、フェンスの移設修繕、看板の修繕を行い景観維持に努めました。 雨漏り等ひどい展示車両の修繕を行う予定です。 ホームページやSNSなどで積極的に情報発信を行います。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	柴田 勝己
<p>車両を展示し当時の状態を再現していますが、電車の展示がメインとなっているため、電車好きの来訪者が中心となっています。駅舎の文化財としての価値を維持しつつも、一般の観光客にも訪れてもらえるよう、メディア等の取材については積極的に対応し、知名度の向上につなげます。今後、駅舎の修繕、耐震工事が必要になっております。</p>		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 2 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-7	旧今井家住宅施設管理事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	村瀬 菜摘
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118 観光拠点の整備と充実		
	施策名（評価単位）	26 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	観光客誘致及び観光施設充実を目指して、施設を歴史的風致を維持した運営・管理を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和2年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやマスコミを利用した観光客の誘客活動を行いました。 ・施設修繕、庭木の剪定を行いました。 ・令和2年度の年間開館日数は、292日でした。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	6,624,674	7,170,951	6,972,936	7,720,000
② 人件費	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,350,000
③ 合計コスト ①+②	8,124,674	8,670,951	8,472,936	9,070,000
前年度比（％）		106.7%	97.7%	107.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	8,124,674	8,670,951	8,472,936
④ 活動一単位当たりコスト	23,756.4	25,206.3	29,016.9	26,755.2
前年度比（％）		106.1%	115.1%	92.2%
⑤ コストに関する増減理由 （R2年度実績、R3年度見込）				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位：	日
	指標説明	旧今井家住宅・美濃史料館の年間開館日数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	342	344	292	339	

(4) 成果指標	指標名	入館者数		単位：	人	評価：	+
	指標説明	旧今井家住宅・美濃史料館へ入館した観光客数					
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	目標値	23,791	22,001	23,968	7,612		
	実績値	20,953	22,827	7,250			
達成度（％）	88.1%	103.8%	30.2%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
美濃和紙あかりアート展に合わせて秋にライトアップを実施しました。建物が古いため、老朽化している箇所が多く随時の修繕、また耐震強化が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
庭木については、業者による年1回の剪定を実施しますが、雑草・落葉などの処理については、施設職員が実施します。建物を維持管理していくため、計画的に施設修繕を行います。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	柴田 勝己
江戸時代から続く紙問屋の内部を見学できる施設であり、文化財としての価値もある建物です。老朽化が進んでおり、今後耐震工事を行う必要があります。また、修繕等を適切に行い、景観が損なわれないように管理していきます。		
今後の方向性	1. 継続	（1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 2 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-9	観光ふれあい広場維持管理事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	村瀬 菜摘
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118 観光拠点の整備と充実		
	施策名（評価単位）	26 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	駐車場及びトイレを安全で快適に利用してもらえるよう維持・管理を行うとともに、イベント会場として利用を促進します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光トイレ（前野・川湊公園）の管理 ・光熱水費の管理 ・観光バス専用駐車場使用料の管理 ・下段普通車駐車場環境協力金の管理（令和3年2月まで）

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	1,701,990	2,208,888	1,929,016	2,980,000
② 人件費	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,500,000
③ 合計コスト ①+②	3,351,990	3,858,888	3,579,016	4,480,000
前年度比（％）		115.1%	92.7%	125.2%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	3,351,990	3,858,888	3,579,016
④ 活動一単位当たりコスト	13,966.6	16,078.7	14,912.6	18,666.7
前年度比（％）		115.1%	92.7%	125.2%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和3年4月に「みのエネプラザ」が開館し、観光ふれあい広場駐車場が有料化となったため、その維持管理を委託しており、直接事業費が増えています。			

(3) 活動指標	指標名	観光ふれあい広場 公衆トイレ清掃日数			単位：	日
	指標説明	トイレ清掃委託による清掃日数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	240	240	240	240	

(4) 成果指標	指標名	駐車場利用台数			単位：	台	評価：	+
	指標説明	観光駐車場(バス)利用台数						
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	860	697	680	77			
	実績値	664	648	74				
達成度（％）	77.2%	93.0%	10.9%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、観光バスの利用は大幅に減少しました。 観光トイレ（前野）は、夏場は川遊びに来る観光客が増加し、ゴミをトイレ周辺に放置する人が増えることから対策が必要であり、冬場は給水管が凍結し破裂する可能性があるため注意が必要です。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
旧美濃町中心街の駐車車両を観光ふれあい広場駐車場へ誘導し、駐車禁止区域での違法駐車や迷惑駐車を解消を図ります。 観光バスの駐車場に関する問合せがあったときは、観光ふれあい広場を案内し広場の利用促進を行います。 観光トイレ（前野）は、夏場に利用客数が多くなるため、冬場は清掃回数を少なくし、夏場は毎日清掃するようにします。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	柴田 勝己
観光バス駐車場については、今後も広く活用していただけるように、引き続き維持・管理を行っていく必要があります。また、観光トイレ（前野）についても市民、観光客に快適に利用してもらえるように清掃等の管理を行います。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-10	美濃市観光案内所施設管理事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	村瀬 菜摘
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118 観光拠点の整備と充実		
	施策名（評価単位）	26 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	観光客誘致及び観光施設の充実、市内を快適に観光してもらえるよう維持・管理し、サービス向上を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和2年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ管理 ・光熱費管理 ・1階：観光案内所（各種観光パンフレットを設置） ・2階：会議室

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	884,000	990,000	3,894,000	2,889,000
② 人件費	750,000	750,000	750,000	675,000
③ 合計コスト ①+②	1,634,000	1,740,000	4,644,000	3,564,000
前年度比 (%)		106.5%	266.9%	76.7%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,634,000	1,740,000	4,644,000
④ 活動一単位当たりコスト	4,551.5	5,288.8	14,603.8	11,350.3
前年度比 (%)		116.2%	276.1%	77.7%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	R2年度に（一社）美濃市観光協会に法人化され、事務局が市役所に移転したことに伴い、観光案内所を改修したため、直接事業費が増えています。			

(3) 活動指標	指標名	営業日数			単位:	日
	指標説明	観光案内所の営業日数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	359	329	318	314	

(4) 成果指標	指標名	観光案内所の来訪者数		単位:	人	評価:	+
	指標説明	観光案内所に来た観光客数					
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	目標値	38,609	34,476	29,950	10,041		
	実績値	32,834	28,524	9,571			
達成度 (%)	85.0%	82.7%	32.0%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>国内外を問わず、観光客に安心して立ち寄っていただけるような観光案内所としての維持・管理に努めました。建物の老朽化が進んでおり、修繕や施設保全を図る必要があります。また、令和2年度からは、売店機能を廃止し、1階部分については、観光案内所のための機能となりました。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
<p>観光案内所として観光客に快適に利用していただくため、定期的に点検を行い適切な施設管理を行います。また、令和2年度から新たに1階部分も貸出可能となりました。観光客誘致のためにも、積極的に施設を貸し出します。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	柴田 勝己
<p>うだつの上がる町並みの中にあり、観光案内拠点としてなくてはならない施設であるため、定期的な点検等を行い現状維持に努めます。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 2 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-11	観光PR・誘客推進事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	村瀬 菜摘
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	121 観光交流事業の推進		
	施策名（評価単位）	26 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	市観光協会の支援と協働によりさまざまな媒体を活用しての観光PRと地域間交流の拡大と広域観光の推進により交流人口の拡大及び観光産業の振興を図り、国内誘客と新たな観光事業として海外誘客を促進します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和2年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・各種雑誌掲載 ・観光案内看板の改定 ・地域間交流の拡大と広域観光の推進並びに国内外からの誘客に関する事業 等

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	34,706,684	35,414,834	23,648,849	30,102,000
② 人件費	4,125,000	4,125,000	4,275,000	3,300,000
③ 合計コスト ①+②	38,831,684	39,539,834	27,923,849	33,402,000
前年度比（％）		101.8%	70.6%	119.6%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	38,831,684	39,539,834	27,923,849
④ 活動一単位当たりコスト	2,003.2	2,313.9	5,019.6	5,718.5
前年度比（％）		115.5%	216.9%	113.9%
⑤ コストに関する増減理由（R2年度実績、R3年度見込）	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県内外でのPR活動が出来なかったため、直接事業費が減り、活動一単位当たりのコストが増えています。			

(3) 活動指標	指標名	パンフレットの配布部数			単位：	枚
	指標説明	美濃市総合パンフレットの配布枚数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	19,385	17,088	5,563	5,841	

(4) 成果指標	指標名	入り込み客数			単位：	人	評価：	+
	指標説明	年間を通し当市を訪れた観光客数						
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	1,240,022	1,240,022	1,042,156	647,962			
	実績値	1,107,508	992,530	617,107				
達成度（％）	89.3%	80.0%	59.2%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、美濃まつり等イベントの中止が相次ぎ、観光客数も大幅に減少しました。イベント等の中止に伴い総合パンフレットの配布数も大幅に減少しています。
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
<p>新たな観光資源の開発、観光客の誘致の仕組みを作っても、それを有効に機能させるためには商談会や旅行会社訪問など継続的なセールス活動が重要です。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行会社等への営業は厳しいですが、インターネット上での情報発信等により美濃市のPRを実施します。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	柴田 勝己
<p>市単独では観光資源が乏しいため、近隣市との連携は特に必要です。今後も他市の観光資源と美濃市の観光資源を結び、広域観光周遊ルートをPRします。</p> <p>また、市内業者を巻き込んだPR活動を積極的に行い、市と観光協会の役割分担を確認し、無駄を省く効果的な誘客活動を行います。</p>		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 2 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-15	美濃和紙あかりアート展開催事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	村瀬 菜摘
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	123 新たなイベントの文化の育成と既存イベントの文化の充実		
	施策名（評価単位）	26 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	美濃和紙あかりアート展の開催支援により、観光PR及び観光客増加を図るとともに、美濃和紙の振興及び保全・継承に寄与します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和2年度）	美濃和紙あかりアート展を開催している美濃和紙あかりアート展実行委員会に対する事業費の補助。 （実績）委員会開催数 : 11回 作品出展応募数 : 363点 来場者数 : 2,400人 （新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントは分散展示）

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	6,500,000	2,677,130	880,000	6,500,000
② 人件費	750,000	750,000	750,000	675,000
③ 合計コスト ①+②	7,250,000	3,427,130	1,630,000	7,175,000
前年度比（％）		47.3%	47.6%	440.2%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	7,250,000	3,427,130	1,630,000
④ 活動一単位当たりコスト	906,250.0	285,594.2	148,181.8	717,500.0
前年度比（％）		31.5%	51.9%	484.2%
⑤ コストに関する増減理由 （R2年度実績、R3年度見込）	令和2年度は、実行委員会が県補助金を活用したため、直接事業費が減少しました。令和3年度は県補助金を活用できる見込みがないため、直接事業費が増えています。			

(3) 活動指標	指標名	実行委員会開催数			単位：	回
	指標説明	実行委員会の年度内開催数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	8	12	11	10	

(4) 成果指標	指標名	観客数		単位：	人	評価：	+
	指標説明	美濃和紙あかりアート展観客数					
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	目標値	94,500	84,000	0	2,520		
	実績値	80,000	0	2,400			
達成度（％）	84.7%	0.0%	#DIV/0!				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
美濃市を代表する秋のイベントとして定着し、観光客の誘客に大いに貢献していますが、補助金に頼った運営からの早期脱却が今後の課題です。平成20年度からは駐車場利用協力金を徴収し、自主財源の確保を図っています。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、大矢田神社、川湊公園、小倉公園の3か所での分散展示となり、期間も10月18日（日）～10月24日（土）までと延長していません。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
自主財源確保のために企業広告の掲載など民間活力を利用しています。組織的なボランティアの強化等で適切な役割分担を図り、市民参加型のイベントとして事業への補助を行っています。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	柴田 勝己
美濃和紙あかりアート展は、美濃市の一大イベントとして全国に知られ、観客動員数も最も多いイベントになりました。市民ボランティアの協力を得ながら、引き続き開催をしていくことが必要です。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、従来の2日間での開催が難しくなっており、今後の開催方法を検討する必要があります。長年、継続しており運営が停滞気味であるため、今後も市民参加型のイベントとし確立するための検証を行うとともに、協賛等自主財源確保に努め、補助金額の精査を行います。			
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 2 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-16	美濃市花火大会補助事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	村瀬 菜摘
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	123 新たなイベント文化の育成と既存イベントの文化の充実		
	施策名（評価単位）	26 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	美濃市花火大会を支援することにより、郷土を大切にすることを育むとともに、観光PRと観光誘客を進めます。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和2年度）	真夏の長良川河畔で行われる美濃市の夏の風物詩である美濃市花火大会を開催している美濃市観光協会に対する事業費の補助。 令和2年度は、東京2020オリパラのため中止。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	1,236,000	1,236,000	0	0
② 人件費	1,125,000	1,125,000	0	0
③ 合計コスト ①+②	2,361,000	2,361,000	0	0
前年度比（％）		100.0%	0.0%	#DIV/0!
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,361,000	2,361,000	0
④ 活動一単位当たりコスト	2,361.0	2,361.0	#DIV/0!	#DIV/0!
前年度比（％）		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
⑤ コストに関する増減理由 （R2年度実績、R3年度見込）	令和2年度は、花火大会が開催されないため、事業費が皆減となりました。 令和3年度も同様に花火大会が開催されないため、事業費が皆減となりました。			

(3) 活動指標	指標名	花火打ち上げ数			単位：	発
	指標説明	美濃市花火大会花火打ち上げ数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	1,000	1,000	0	0	

(4) 成果指標	指標名	観客数			単位：	人	評価：	+
	指標説明	美濃市花火大会観客数						
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	21,000	21,000	0	0			
	実績値	20,000	20,000	0				
達成度（％）	95.2%	95.2%	#DIV/0!					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
東京2020オリパラの影響で令和2年度は中止となりました。 現在の新型コロナウイルスによる経済状況を反映し、協賛金や補助金の減少等により大会自体の規模縮小が避けられない状況であるため、今後、協賛金や補助金に頼らない開催方法の確立等が必要と考えられます。	

6. 具体的な改善内容	改善時期

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	柴田 勝己
東京2020オリパラの影響で、令和2、3年度は中止となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響から、景気が低迷し、協賛金が減少する恐れがあります。 市民や観光客も参加できるように企画を変えていき、より多くの協賛金が得られるようにしていく必要があります。 夏の風物詩として楽しみにしているイベントではありますが、協賛金額や運営方法を見ながら、今後の継続を検討します。			
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 2 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-17	外国人誘客交流事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	村瀬 菜摘
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	124 国内外イベントの参加とPR		
	施策名（評価単位）	26 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	岐阜県と連携して外国人観光客の誘客や交流促進を進めるとともに、海外との産業交流を目指して、外国との積極的な交流事業を展開します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和2年度）	外国人観光客の誘客に向けて無料公衆無線LAN設置支援事業のための補助金を整備しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	0	0	167,000	500,000
② 人件費	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,350,000
③ 合計コスト ①+②	1,500,000	1,500,000	1,667,000	1,850,000
前年度比（％）		100.0%	111.1%	111.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,500,000	1,500,000	1,667,000
④ 活動一単位当たりコスト	100,000.0	125,000.0	#DIV/0!	1,850,000.0
前年度比（％）		125.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
⑤ コストに関する増減理由 （R2年度実績、R3年度見込）				

(3) 活動指標	指標名	誘客宣伝事業・観光PRの回数			単位：	回
	指標説明	海外メディア対応、海外訪問団視察対応、海外での美濃市PR				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	15	12	0	1	

(4) 成果指標	指標名	外国人観光客数			単位：	人	評価：	+
	指標説明	旧今井家住宅、あかりアート館への外国人観光客数						
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	1,153	1,778	1,697	42			
	実績値	1,693	1,617	40				
達成度（％）	146.8%	90.9%	2.4%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
世界的に新型コロナウイルス感染症が蔓延しているため、外国人観光客数はほぼ0人となりました。同様の理由により、海外でのPRの機会も減少しています。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行会社等への営業活動は難しいですが、インターネット上での情報発信等により、美濃市のPRを実施します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	柴田 勝己
外国人の誘客を進めていくためには、市単独では難しいこともあり、近隣市との連携を図りながら事業を進めます。また、外国人観光客のニーズの把握により、外国人観光客の受入れ態勢を確立します。 スマートフォンの普及やSNSの人気を考慮し、インターネット上での情報発信を強化します。		
今後の方向性	1. 継続	（1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）